



STOP! 介護崩壊 介護ウェーブ2009 推進ニュース

－介護ウェーブの“Big Wave”をおこそう！－

取り組みを具体化し12月末までに500,000筆の署名を集め介護改善要求を国会に届けよう！

第1回「介護活動交流集会」を開催 80名が参加(大分) 「民医連の取組みがジリジリと厚労省を追い詰めていることを実感」



11月29日（日）に、第1回「介護活動交流集会」を開催しました。介護・在宅分野のみを対象とした集会は、大分民医連では初めての開催でしたが、目標を上回る80名の参加がありました。

第1部として、介護・福祉部長の山田智先生による「介護情勢と対応について～介護ウェーブにふれながら～」をテーマとした講演を行いました。新認定制度の問題点と影響や介護報酬改定に伴う限度額オーバーの実態について、具体的な事例やデータを示しての講演内容に、参加者の理解も深りました。在宅ターミナルケアにおける利用者実態と介護認定の矛盾、認知症に対する行政と地域事業所が一体となった大牟田市の取り組みなどには、参加者の関心も高くなっていました。また、10月の認定基準の一部見直しについて、一旦実施された制度の誤りを認めさせて修正をさせたという点では、「民医連の取組みがジリジリと厚労省を追い詰めていることが実感できた」との感想もありました。

第2部・演題発表では、全事業所、多様な職種からの発表がありました。認知症高齢者・独居高齢者への支援の取組み、介護保険制度と利用者ニーズの狭間で矛盾をかかえながら日々サービスを行っている状況などが発表されました。



今回の集会を通して改めて感じられた介護保険制度の問題点に対して、私たちは、“具体的に訴えていくことのできる団体”として、今後も取り組んでいきたいと思います。

（2009年12月10日 大分県医療生協在宅総合センターすこやか 吉田禎さんより）

「介護認定調査員・認定審査員との懇談会」に27名が参加 介護保険制度の改善を求める運動を広めていく事を確認（神奈川民医連）

12月5日（土）県連第四会議室において、介護福祉委員会主催の「介護認定調査員・認定審査員懇談会」が開かれました。片倉委員長より開催に向けての経過報告のあと、全日本民医連介護福祉部・山平久雄氏から「介護・福祉の動向と要介護認定をめぐる課題」について特別報告を受け懇談にはいました。



懇談では、審査委員から、「新制度になり重度変更率が倍になった」「2次判定で介護度をあげるには、主治医意見書、特記事項の記載が重要になる」、調査員からは、「新規申請者にはサービスを受けさせたい」「更新申請者には介護度が下げない気持ちで面接をしている」「ケアマネは地域のケアマネ連絡会と地域連携室が一緒になって夜の学習会を開き交流を行っている」等、介護サービスを受けたい人

にどうしたら満足のいくサービスを提供できるか、奮闘している姿が報告されました。

最後に私たちの運動の広がりで満足ではないが国を動かし処遇改善を前進させたことに確信をもち、今後は多職種参加の主治医意見書作りや、事例を基にした介護現場の実態を社会に知らせながらさらなる介護保険制度の改善を求める運動を広めていく事を確認し散会しました。

(介護ウェーブ推進ニュース神奈川 2009年12月7日 No. 28より)

介護署名の中に、「クリスマスカード」と「年賀状」が同封 「今年こそ国民に偉多かれと願います。参議院選挙にむけてがんばりましょう」

11月19日、全日本医連事務局に、一通の封書が届きました。中には、12月末までに50万筆を目標に全国で取り組んでいる「介護保険制度の改善、社会保障の充実を求める署名」と、政治が良くなつて欲しいと強い気持ちが込められた「クリスマスカード」と「年賀状」が同封されていました。

「クリスマスカード」には、「政治が変わってほしい。国民の側に眼を向けて欲しいとの願いから自民党から民主党へと政権が移りましたが、根本は同じです。すこしあはわるでしょうが、同じ道をたどるのではと心配します。来年の参議院選挙に、心配をとりのぞきたいものです」と、民主党政権に対する不安な気持ちがつづられていました。

「年賀状」には、「今年こそ国民に偉多かれと願います。参議院選挙にむけて、がんばりましょう」と、2010年に対する願いが込められていました。

本日現在(2009年12月14日)の署名の集約状況は、214,160筆で、目標の50万筆まで残り285,840筆です。引き続き創意工夫の取り組みを具体化し、多くの市民に「介護改善、社会保障の充実」を訴え、全国各地で「介護ウェーブの”Big Wave”」を起こしていきましょう！



(年賀状)



(クリスマスカード)

お問い合わせは、「介護ウェーブ推進本部」事務局：山平・名波まで

TEL 03-5842-6451 / FAX 03-5842-6460 / E-mail min-kaigo@min-iren.gr.jp